

避難所開設・運営訓練の手引き

広島県健康福祉局健康危機管理課

避難所開設・運営 訓練の手引き

令和5年3月
(令和6年3月改訂)

広島県
健康福祉局健康危機管理課



目 次

第1章「避難所開設・運営訓練の手引き」について

1. 「避難所開設・運営訓練の手引き」について・・・2
2. 手引きの構成・・・4
3. 手引きの見方・使い方・・・6

第2章「避難所開設・運営訓練」の手順

1. 訓練企画～実施・ふりかえりまでの手順について・・・12
2. 企画段階の取り組み・・・14
3. 準備段階の取り組み・・・18
4. 実施段階の取り組み・・・22
5. ふりかえり段階の取り組み・・・26

第3章「避難所開設・運営訓練」の訓練メニュー

1. 訓練メニュー一覧・・・32
2. ステップ1 開設・運営がイメージできる訓練・・・34
3. ステップ2 個々の活動がわかる訓練・・・54
4. ステップ3 組織での活動がわかる訓練・・・116

第1章「避難所開設・運営訓練の手引き」について

本章では、下記の項目について説明します。

1. 「避難所開設・運営訓練の手引き」について
2. 手引きの構成
3. 手引きの見方・使い方

1. 「避難所開設・運営訓練の手引き」について

(1) 本手引きの趣旨

- 災害時において避難所は、被災者の「いのち」を守るための避難先として、また安心して「暮らす」ための一時的な生活の場として、重要な役割を担っています。その役割が果たされるためには、平時から安全に、安心して生活できる環境を整え、円滑に避難所の開設・運営ができるよう、準備しておく必要があります。
- この準備の一つとして重要なのが、避難所の開設・運営の手順を理解し、必要なスキルを身につけるための訓練です。訓練しておきたい内容は多岐にわたります。
- しかし、この訓練にあたっては数々の悩ましい問題があります。(どう準備する)準備すべきことは?どれくらい時間がかかる?といった意見をはじめ、そもそも(何をやる)どんな訓練をすればよい?、はじめて訓練する場合に、何からやればよい?などの悩みは、多く聞かれるところです。
- そこで訓練の企画・実施するための流れや方法、訓練のポイントなどを示し、みなさんの地域で訓練実施をする際の手がかりとして使っていただけるよう「避難所開設・運営訓練の手引き」を作成しました。
- 本手引きでは、訓練にあたり「どう準備していけばよいか」、その全体の流れがわかるように「訓練の企画・準備・実施からふりかえり」までの手順を解説するほか、「何をすればよいか」わかるように「訓練メニュー」を示しています。また、訓練ごとに準備事項や実施内容の例を記載した「訓練シート」を掲載しています。なお、訓練メニューは、はじめて訓練に取り組む場合や既に訓練を実施している場合に、「今後、どう取り組んでいけばよいか」わかるように工夫して整理し、訓練経験の状況に応じて取り組むべき訓練を選択できる構成としています。



本手引きを手がかりにして、円滑な避難所開設・運営ができるよう訓練を実施していきましょう。

(2) 訓練が必要な理由

訓練は、特に次の2つの観点から実施します。

①災害時において、円滑に避難所開設・運営ができるようになるため

- 災害時に、円滑に避難所を開設し運営するためには、そもそも、どんなことをしなければならないかを知り、活動の仕方を身につける必要があります。
- また、避難所開設・運営は、地域住民、市町職員、施設管理者など避難所運営の関係者が協力して取り組む必要があり、あらかじめ関係者間で役割分担をしながら、活動できるようにしておく必要があります。
- そこで、**関係者で訓練を実施し、いつ災害が起きても円滑に対応できるよう準備しておきます。**



平成30年7月豪雨時の避難所の様子
出典：熊野町「平成30年7月豪雨災害の検証結果報告書」

②避難所開設・運営の活動の見直しをするため

- 災害時の避難所開設・運営を、地域の避難所の状況に応じて適切に、また効率的に進めるためには、開設・運営の仕方も、より良くなるよう見直しすることも重要です。
- 訓練を通じて、**活動の方法や進め方で疑問や課題となるところ、マニュアルで記述が不足しているところなどを参加者同士で話し合い、改善します。**



広島市安佐北区の指定避難所の訓練の様子

2. 手引きの構成

本手引きの構成

本手引きは、次のような構成で整理されています。

〈目次〉

はじめに

第1章「避難所開設・運営訓練の手引き」について

1. 「避難所開設・運営訓練の手引き」について
2. 手引きの構成
3. 手引きの見方・使い方

第2章「避難所開設・運営訓練」の手順

1. 訓練企画～実施・ふりかえりまでの手順について
2. 企画段階の取り組み
3. 準備段階の取り組み
4. 実施段階の取り組み
5. ふりかえり段階の取り組み

第3章「避難所開設・運営訓練」の訓練メニュー

1. 訓練メニュー一覧
2. ステップ1 開設・運営がイメージできる訓練
3. ステップ2 個々の活動がわかる訓練
4. ステップ3 組織での活動がわかる訓練

○第1章「避難所開設・運営訓練の手引き」について

第1章では、本手引きの趣旨や訓練の必要性について、また本手引きの構成と見方・使い方について説明しています。

○第2章「避難所開設・運営訓練」の手順

第2章では、本手引きで紹介する全ての訓練の実施にあたり共通する取り組み手順「企画・準備・実施・ふりかえり」を示しています。

また企画、準備、実施、ふりかえりのそれぞれで、具体的に取り組む事項とポイントを解説するほか、参考となる事例なども紹介しています。



訓練の4つの手順の図

○第3章「避難所開設・運営訓練」の訓練メニュー

第3章では、避難所開設・運営を行うにあたって特に重要な活動についての訓練の一覧を、訓練メニューとして整理しています。また訓練メニューに記載している各訓練ごとに訓練シートを示しています。

訓練メニューは、避難所の「開設」と「運営」の訓練とに分け、また、段階的な訓練実施を考慮し、学習Step1～3に応じた訓練を設定しています。

■訓練メニュー一覧			
	Step1 開設・運営がイメージできる	Step2 個々の活動がわかる	Step3 組織での活動がわかる
避難所 開設	1-1. 地域の災害リスクと避難先 1-2. 避難所の施設見学		
	1-3. 避難所開設の流れ	2-1. 施設の安全点検訓練 2-2. 避難所開設準備訓練 2-3. 避難者受け入れ訓練	
	1-4. 運営組織の活動と体制の確立の理解	2-4. 避難所運営組織の立上げ訓練	
避難所 運営	1-5. 運営に必要な各種活動の理解 ～避難者の管理・総合調整～	2-5. 避難者状況の管理・手続き訓練	3-1. 避難所開設・運営訓練 ～地震災害～
	1-6. 運営に必要な各種活動の理解 ～避難所における情報活動～	2-6. 情報収集・伝達訓練	
	1-7. 運営に必要な各種活動の理解 ～避難所の生活環境整備～	2-7. ライフライン点検・代替手段の確保訓練 2-8. 災害用トイレの設置訓練 2-9. 避難所の衛生管理訓練 2-10. ベット受け入れ訓練	3-2. 避難所開設・運営訓練 ～風水害～
	1-8. 運営に必要な各種活動の理解 ～食料・物資の確保と配布～	2-11. 備蓄物資の確認・配布訓練 2-12. 必要な物資の把握と調達依頼訓練 2-13. 炊き出し訓練	
	1-9. 運営に必要な各種活動の理解 ～避難者の健康管理～	2-14. 避難者の健康管理・状況把握訓練 2-15. 要配慮者の受付・対応訓練	
	1-10. 運営に必要な各種活動の理解 ～ボランティアの受け入れ・調整～	2-16. ボランティアニーズのとりまとめ訓練	

訓練メニュー

また、訓練メニューに示した訓練ごとに準備すべきことや実施の手順、実施のポイント等を示した訓練シートを用意しています。なお訓練シートのいくつかには、参考となる実施事例や資料なども示しています。



訓練シート

訓練の実施事例・参考例

3. 手引きの見方・使い方

(1) 「訓練メニュー」の見方・使い方

地域として取り組みたい「訓練テーマ」を選定する際の手がかりとなるよう、避難所開設・運営に係る訓練メニューでは、実施すべき訓練とその取り組みの段階性(3つのステップ)がわかるように明示しています。

○実施すべき訓練

円滑な避難所の開設・運営にあたり、必要な知識やスキルを身につけるために実施すべき訓練として、「開設」のための訓練と「運営」のための訓練、「開設+運営」を組み合わせた訓練として区分整理しています。

○3つのステップ

避難所開設・運営活動に関する理解度や習熟度に応じた訓練を設定



ステップ1では

- 避難所開設・運営にあたり、どんな活動をしたらよいか、活動をイメージできるようになるための訓練を設定

ステップ2では

- 避難所開設・運営にあたり、個々の活動の実施方法や手順を理解するための訓練を設定

ステップ3では

- 避難所開設・運営の一連の活動における組織としての対応、連携・協力方法を理解するための訓練

	Step1 開設・運営がイメージできる	Step2 個々の活動がわかる	Step3 組織での活動がわかる
避難所 開設	1-1. 地域の災害リスクと避難先 1-2. 避難所の施設見学	■「開設」のための訓練	■「開設+運営」のための訓練
	1-3. 避難所開設の流れ		
	2-1. 施設の安全点検訓練 2-2. 避難所開設準備訓練 2-3. 避難者受入れ訓練		
避難所 運営	1-4. 運営組織の活動と体制の確立の理解	■「運営」のための訓練	3-1. 避難所開設・運営訓練 ～地震災害～ 3-2. 避難所開設・運営訓練 ～風水害～
	1-5. 運営に必要な各種活動の理解 ～避難者の管理・総合調整～		
	1-6. 運営に必要な各種活動の理解 ～避難所における情報活動～		
	1-7. 運営に必要な各種活動の理解 ～避難所の生活環境整備～		
	1-8. 運営に必要な各種活動の理解 ～食料・物資の確保と配布～		
	1-9. 運営に必要な各種活動の理解 ～避難者の健康支援～		
	1-10. 運営に必要な各種活動の理解 ～ボランティアの受入れ・調整～		
	2-4. 避難所運営組織の立上げ訓練		
	2-5. 避難者状況の管理・手続き訓練		
	2-6. 情報収集・伝達訓練		
	2-7. ライフライン点検・代替手段の確保訓練		
	2-8. 災害用トイレの設置訓練 2-9. 避難所の衛生管理訓練 2-10. ペット受入れ訓練		
	2-11. 備蓄物資の確認・配布訓練 2-12. 必要な物資の把握と調達依頼訓練 2-13. 炊き出し訓練		
	2-14. 避難者の健康管理・状況把握訓練 2-15. 要配慮者の受付・対応訓練		
	2-16. ボランティアニーズのとりまとめ訓練		

〈訓練メニューの活用〉

- 避難所開設・運営に係る取り組み進捗を踏まえ、実施する「訓練テーマ」を決める上での参考としてください。
- どんな訓練をすればよいか、段階的にどのように取り組んでいけばよいかなど、悩まれている場合の参考としても活用してください。

3. 手引きの見方・使い方

(2) 訓練シートの見方・使い方

訓練シートは、訓練の企画や当日訓練を実施する人の手がかりとなるよう、次のとおり訓練の「企画・準備」や「実施」の手がかりとなる事項を記載しています。

〈訓練シートの見方〉

企 画・準 備

訓練ステップを示しています

訓練のタイトルと意図を説明しています

■訓練の概要
訓練メニューに関する概要として・・・

- 訓練の内容や実施場所
- 所用時間

を例示しています

■訓練に向けた準備
メニューに関する訓練に向けた準備として・・・

- 司会者や進行者など訓練進行に必要な人
- 訓練実施の際に使用する資料や物品
- その他、事前に調整・検討する事項

を例示しています

開設・運営がイメージできる
個々の活動がわかる
組織での活動がわかる

1-1 地域の災害リスクと避難先

災害時の「適切な避難行動」につながるよう、住まいの地域の「災害リスク」について把握し、また、いざというときに避難する、「避難先」について理解します。



訓練の概要

本訓練は「説明+ワークショップ」形式で、次の「実施内容」を中心に行います。

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明+ワーク「地域の災害リスク」を知る ● 説明 「地域の避難先」について理解する ● 検討・発表 「適切な避難に向けた備え」を考える 	所要時間	60分
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所となる施設の研修室や会議室、ホール等 ➢ 講義形式で実施可能なスペースを確保します。 		

訓練に向けた準備

訓練の実施に向けて「実施場所」を確保するとともに、次の必要な「人員」や「資料物品」を確保・準備します。

必要な人員	<p style="font-size: x-small;">次の役割を担う人をあらかじめ確保します（状況により兼務可能）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 司会者：1名 / 訓練当日の司会進行（必要に応じて写真記録等を行う）。 ● 進行役：1名 / 説明やワークの進行。 <p style="font-size: x-small;">※司会や進行役は、地域の自主防災組織リーダー、広島県避難所開設・運営訓練アドバイザー、市町職員などをお願いします。</p>
必要な資料物品	<p style="font-size: x-small;">次の資料について、参加人数分を用意します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ハザードマップ等 : 市町で示している地震被害想定地図※や市町で提供している水害に関するハザードマップ。 ● ワークシート（地震） : 地震災害リスクを記入するシート（付属）。 ● ワークシート（風水害） : 風水害リスクを記入するシート（付属）。 ● 教材「地域の避難先」 : 指定緊急避難場所と指定避難所の説明資料（付属）。 <p style="font-size: x-small;">※地震被害想定地図は「揺れやすさマップ」などの名称の資料で示されていることもあります。</p>

訓練実施の流れ

01 訓練概要の説明 所要：5分

【司会者】本訓練の目的と内容、スケジュールを説明する。
目的：地域の「災害リスク」について把握し、「避難先」について理解すること。

02 説明+ワーク「地域の災害リスク」を知る 所要：30分

【資料物品】 ● ハザードマップ ● ワークシート（地震・風水害）

【進行役】次の流れで説明とワークを進行する。

1. 地域の災害リスクを知るために「地震被害想定地図」や「水害（洪水）ハザードマップ」が有効であることも説明
2. 地震被害想定やハザードマップで示している事項（凡例等）を説明
➢ハザードマップ上で浸水や土砂災害の危険性が示されていないところが、必ずしも「安全なわけではないこと」も併せて伝える。
3. (ワーク) 手元にハザードマップ等を用意してもらい、マップ上で「自宅周辺」を確認するよう促す
4. (ワーク) マップ上の自宅やその周辺における「災害リスク」と参加者自身の避難先を確認・検討し、結果を「ワークシート」に書き出すよう促す
➢自宅周辺がどんな強さの揺れに見舞われる可能性があるか、自宅に浸水や土砂災害リスクがあるかどうか確認するよう伝える。
➢地震時の大雨時では、避難先が異なる場合があることも伝えながら、適切な避難先を検討するよう伝える。
5. 「地域の災害リスク」と適切な「避難先」に関する理解の必要を伝える。

ワークシート

03 説明「地域の避難先」について理解する 所要：10分

【資料物品】 ● 教材「避難場所と避難所」

【進行役】次の流れで説明する。

1. 「避難場所と避難所」をもとに、避難に係わる場所に関する種類と役割の違いを説明する。
➢「指定緊急避難場所」と「指定避難所」の違いがあることがわかるように説明する。
2. 地震災害時と風水害時とで取るべき避難行動や避難先の違いがある場合があることを説明する。

04 検討・発表「適切な避難に向けた備え」を考える 所要：15分

【進行役】次の流れで、検討・発表を進行する。

1. ワークシートに書き出した「災害リスク」状況を踏まえ、適切な避難を行うためのどんな対策が必要となるか検討するよう促す（5分）
2. 何人かの参加者から、検討結果を発表してもらおう（5分）
3. 最後に「自分のいのちを守る」ために、適切な避難行動をするための準備が必要であることを伝える

訓 練 実 施

■訓練実施の流れ
訓練メニューに関する当日の進め方として・・・

- 実施する内容と順番を例示しています

また訓練内容ごとに・・・

- 所要時間
- 実施に必要な資料物品
- 実施手順とポイント（説明すべき事項等含む）

を例示しています

〈訓練シートの活用〉

- 企画・準備において・・・「訓練の概要」を見ながら訓練を企画し、「訓練に向けた準備」を参考にしながら、当日の訓練に向けた準備をすすめてください。
- 訓練実施において・・・訓練当日の進め方をはじめ、説明すべき事項やポイントを記載している「訓練実施の流れ」部分を参考にして訓練を進めてください。